



大分県内のコロナ感染者はデータ上は0人が続いています。福岡県に通勤や通院している方の感染があったようです。検査を福岡県で行ったため、大分県の感染者としてカウントされていませんが、県内にも感染者がいますので、感染予防を徹底するようにしましょう。

★今月のトピックス ～ ピロリ菌と胃がん

ピロリ菌とは正確には、ヘリコバクター・ピロリ菌といって、胃の中に住む細菌のことです。強い酸性環境である胃の中で、特別な酵素を持ち生存しています。このピロリ菌がいると胃粘膜が攻撃にさらされ、胃の粘膜が障害を受けて徐々に粘膜が萎縮してきます。それと同時に胃潰瘍や十二指腸潰瘍にもなりやすくなり、最近では胃がんとの関連も指摘されています。

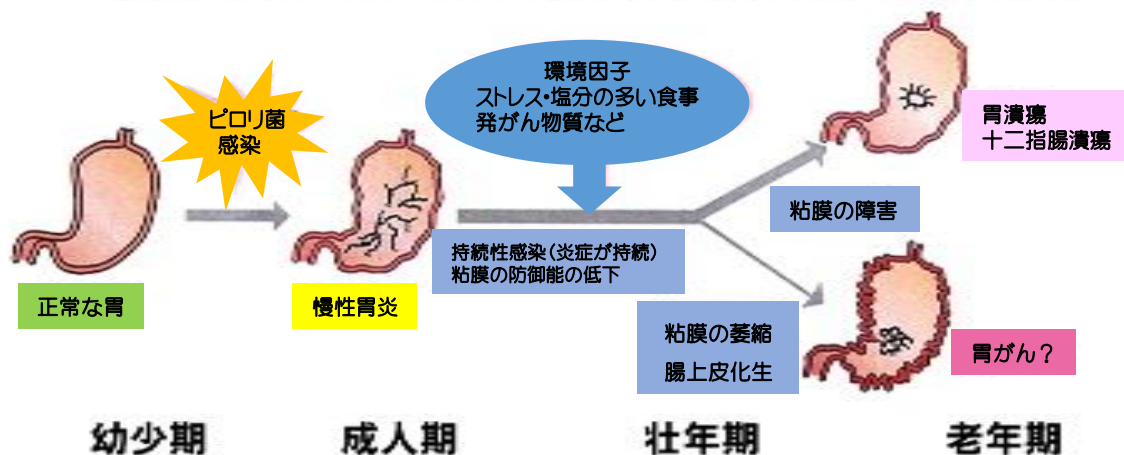


ピロリ菌の感染率は50代以上に多く、子供のころの衛生環境によるところが多かったようです。現在でも20代や30代にも感染者がいます。これは家庭内の口を介した感染が大部分だと考えられています。若い人たちで「ご両親がピロリ菌の感染者だった方は、注意が必要かもしれません。」

ピロリ菌による胃粘膜の障害が繰り返されると、その修復過程で腸上皮化生となったり、環境因子の影響も重なり癌化を引き起こしたりします。また一度粘膜の萎縮が進むと、ピロリ菌を除菌したとしてもすぐに粘膜が正常化するわけではないので、除菌後も定期的な内視鏡検査が必要になります。

当クリニックでは、「ピロリ菌抗体検査:自費1000円」を行っております。ピロリ菌感染や胃がんが心配な方は、是非一度検査をお受けください。

子供のころのH.ピロリ感染が、大人になってからの胃潰瘍、胃がんの原因になる



お知らせ!

コロナウイルスの抗体検査始めました。5000円(税込)

PCRとは違い、現在感染しているかは判りません。感染の既往があるかどうかの判断が可能です。